

令和6年度

予算書

令和6年3月22日

資料目次

1 令和6年度予算編成について	-1・2-
2 収支予算書	
(1)収支予算書(正味財産増減予算書)	-3-
(2)収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)	-4-
(3)資金調達及び設備投資の見込みについて	-5-
3 事業計画書	
(1)令和6年度事業計画	-6・7・8・9-
(2)令和6年度「物品預託と払出」計画	-10-
(3)令和6年度「ボランティア活動」計画	-11-

公益社団法人 熊本善意銀行

令和6年度予算編成について

—はじめに—

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、令和5年5月から「5類」に移行したことに伴い、経済活動は徐々に回復の兆しが見られます。県内でも多くの商業施設や観光地でにぎわいを取り戻しつつあります。一方で、ウクライナ情勢や中東情勢、円安の影響などによるエネルギー価格の上昇や急激な物価高が、私たちの暮らしに直接的な影響を与えています。さらに令和6年元日、最大震度7の大地震が石川県の能登半島を襲い、甚大な被害をもたらしています。県内でも熊本地震や令和2年7月豪雨の被災地の復興、被災者の生活再建がいまだに大きな課題となっています。

こうした中、当行は令和6年度も、コロナ禍や物価高の影響を強く受けている障がい者や高齢者、ひとり親家庭をはじめ、熊本地震や7月豪雨の被災者などを支援している団体への助成を通して、元気な地域社会や福祉を取り戻していくお手伝いができればと考えています。

熊本善意銀行は昭和38年に設立され、今年で61年目を迎えます。これまで運営できましたのも、ひとえに会員の皆さまをはじめ、預託者やボランティアの方々のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。今後も県民の皆さまからお預かりした善意の金銭、物品などを、支援を必要とされている方々へつなぐ「善意の架け橋」としての役割を果たしてまいります。

本年度も、皆さまのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

—概要と考え方—

熊本日日新聞社と地方経済総合研究所による県内企業の経営者意識調査では、令和6年の県内景気が「良くなる」「やや良くなる」との回答は合わせて67.5%と、前年調査から13.4ポイント増えて過去5年で最高になりました。台湾積体回路製造(TSMC)など半導体関連企業の集積による波及効果やインバウンド(訪日客)の増加による消費拡大への期待が高まっています。

こうした中、当行の令和5年度を受取寄付金は、新たな預託者が増加するなどして、予算を上回る見込みです。新型コロナウイルス禍の収束を追い風に経済は緩やかに回復していますが、物価高や実質賃金の目減りによる消費マインドの低下など先行きが不透明な状況は今後も続きそうです。このため令和6年度は寄付金収入を前年度予算に対してほぼ同額にする予算とし、公益目的事業会計

と法人会計を合算した総経常収益を23,150千円(前年度予算23,200千円)、前年度予算比99.8%としました。また、総経常費用は26,485千円(同25,009千円)で、前年予算比105.9%。総当期経常増減額は▲3,335千円(同▲1,809千円)です。

公益社団法人に求められる収支相償、公益事業比率、遊休財産保有制限の「財務3基準」を遵守し、より一層の安定的な運営を目指します。

地域に根差した社会福祉事業に取り組むため、法人会計と公益目的事業会計は以下のような予算にしました。

《法人会計》

法人会計は熊本善意銀行の運営維持に必要な基本経費を賄う会計で、会員の皆様からの会費収入に支えられています。ただし、収入の半分を公益目的事業に充てるため、経常収益予算は8,175千円(前年度予算8,200千円)で前年度予算比99.7%にしました。

管理費は前期同様、費用を公益目的事業と法人事業に分配しました。支出合計は2,790千円(同2,844千円)で前年度予算比98.1%、当期経常増減額は5,385千円(同5,356千円)です。

《公益目的事業会計》

公益目的事業会計は熊本善意銀行の社会福祉活動の根幹を表す会計で、収入は広く県民の方々から寄せられる「善意」の預託金です。これに会費収入の50%を加えて、経常収益予算は14,975千円(前年度予算15,000千円)とし、前年度予算比99.8%の予算にしました。

公益目的事業は従来地域ボランティア活動支援や「小・中学校への車いす贈呈」、「100歳到達者の表彰」などをこれまで通り行っていきます。さらに障がい者福祉・児童福祉・高齢者福祉等の払い出し申請に基づく公益事業予算は、新聞・ラジオ・ホームページ等を活用して広く門戸を開き、ケースに応じて柔軟に対応していきたいと考えております。事業費は23,695千円(同22,165千円)で前年度予算比106.9%、当期経常増減額は▲8,720千円(同▲7,165千円)となり収入を上回る払い出しにしました。

令和6年度 収支予算書(正味財産増減予算書)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	当年度	前年度(予算)	増減	前年度比
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費	16,350	16,400	-50	99.7
②受取寄付金	6,800	6,800	0	100.0
③為替差益	0	0	0	
④雑収益	0	0	0	
経常収益計	23,150	23,200	-50	99.8
(2) 経常費用				
事業費(公益)	23,695	22,165	1,530	106.9
管理費(法人)	2,790	2,844	-54	98.1
経常費用計	26,485	25,009	1,476	105.9
当期経常増減額	-3,335	-1,809	-1,526	184.4
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-3,335	-1,809	-1,526	184.4
他会計振替額	-	-	-	
当期一般正味財産増減額	-3,335	-1,809	-1,526	184.4
一般正味財産期首残高	23,634	22,049	1,585	107.2
一般正味財産期末残高	20,299	20,240	59	100.3
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III. 正味財産期末残高	20,299	20,240	59	100.3

※災害救援に関連する支出は、予算額を越えて執行することができる。

※一般正味財産期首残高の金額は予算策定時の推定値です。

令和6年度 収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合 計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	8,175	8,175		16,350
受取会費	8,175	8,175		16,350
② 受取寄付金	6,800			6,800
受取寄付金	6,800			6,800
③ 為替差益	0	0		0
④ 雑収益	0	0		0
受取利息	0	0		0
経常収益計	14,975	8,175		23,150
(2) 経常費用				
事業費	23,695			23,695
役員報酬	299			299
給料手当	4,781			4,781
臨時雇用賃金	800			800
福利厚生費	233			233
旅費交通費	407			407
通信運搬費	645			645
消耗品費	931			931
印刷製本費	95			95
広告宣伝費	1,564			1,564
賃借料	921			921
会報発行費	497			497
支払助成金	6,162			6,162
障がい者福祉	1,181			1,181
児童福祉	2,865			2,865
災害見舞い助成	250			250
各種団体助成	1,866			1,866
チケット購入費	100			100
記念品購入費	2,512			2,512
新聞代・送料	371			371
車いす購入費	1,945			1,945
毛布購入費	597			597
減価償却費	672			672
為替差損	0			0
雑費	163			163
管理費		2,790		2,790
役員報酬		61		61
給料手当		979		979
臨時雇用賃金		164		164
福利厚生費		48		48
旅費交通費		83		83
通信運搬費		132		132
消耗品費		117		117
印刷製本費		10		10
広告宣伝費		320		320
賃借料		189		189
会報発行費		102		102
減価償却費		138		138
為替差損		0		0
雑費		447		447
経常費用計	23,695	2,790		26,485
当期経常増減額	-8,720	5,385		-3,335
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0		0
経常外収益	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0		0
経常外費用	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-8,720	5,385		-3,335
他会計振替額	-	-		-
当期一般正味財産増減額	-8,720	5,385		-3,335
一般正味財産期首残高	-	-		23,634
一般正味財産期末残高	-	-		20,299
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
III. 正味財産期末残高	-	-		20,299

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

令和6年4月1日から令和7年3月31日中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の内容	支出予定額（税込み）	資金調達方法
設備投資の予定はありません		

令和6年度事業計画

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和6年度の事業計画は、前年度計画と同程度にしました。基本的な助成も例年通りの計画にし(1)障がい者や児童福祉、災害見舞助成、各種団体への助成(2)百歳を迎えたお年寄りや施設児童・交通遺児の進学・卒業祝い、小中学校への車いす寄贈など物品助成一などの中核事業を引き続き推進していきます。新型コロナウイルス感染症の長期化で見合わせている登録ボランティア団体の活動の橋渡しについては、収束状況や県のリスクレベル等を見極めながら再開時期を判断します。よりきめ細やかな社会福祉貢献のため引き続き「善銀パートナー」参加を推進し、サポート体制の強化を図ります。

広報面では事業の活発化と公平性を保つために、新聞とラジオのほかホームページをより充実させ、啓発活動に力を入れていきます。

1、[公益目的事業]

地域社会が直面する問題の改善を目的として、事業を行う団体・個人に金銭助成や物品支援を行います。

「事業内容」	「備考」
助成事業：公1事業	
① 障がい者福祉助成 (1,181千円) ・障がい者福祉施設等の製品販売促進へ助成 ・重症心身障がい児(者)クリスマス交流会へ助成 ・ダウン症児(者)の夏季療育訓練などに助成 ・肢体不自由児の入学祝に助成(50名分)	前年度予算 より増額
② 児童福祉助成 (2,865千円) ・児童福祉施設の夏季行事に助成(792名 15施設) ・ひとり親家庭等の入学祝に助成(210名分) ・児童養護施設や里親家庭などの巣立ちプロジェクトへの助成	前年度予算 より減額
③ 災害見舞助成 (250千円) ・災害(火災・水害・地震等)に遭われた家族に見舞金を贈呈	前年度予算 より減額
④ 各種団体の助成 (1,866千円) 地域食堂支援や熊本いのちの電話、令和2年7月豪雨や熊本地震被災者の支援団体、その他申請のあった地域福祉団体へ助成	前年度予算 より増額

<p>物品助成：公1事業</p> <p>① チケット等配布（100千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設、障がい者福祉施設などで日常生活を送られている方々やひとり親家庭の方々などに、楽しいひとときを過ごしてもらうためスポーツ観戦、寄席等の入場券を贈呈します。 <p>② 敬老の日 百歳到達者に記念品贈呈等：第44回（2,512千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の満百歳を迎える方々に記念品を贈って長寿をお祝いするとともに、千代の園酒造預託の清酒「百歳万歳」も贈呈予定です。本年の対象者は約1000名の見込みで熊日メディアコム・熊日物流販売、熊日各販売センターの協力を得て、敬老の日前後に自宅や入所施設などにお届けします。 	<p>前年度予算 と同額</p> <p>前年度予算 より増額</p>
<p>郷土紙提供（371千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熊本県出身の青年海外協力隊員に郷土紙提供。（約20名） <p>青年海外協力隊の要請により、世界各地の発展途上国で農業や技術、教育支援などを行っている県出身の隊員たちに、激励の気持ちを込めて郷土紙を「電子版」で提供します。</p>	<p>前年度予算 と同額</p>
<p>車いす贈呈（1,945千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいやけがなどで車いすが必要な児童・生徒に使用してもらうとともに、総合学習で福祉体験活動等を行う際にも利用するため、希望する小中学校に車いすを贈呈します。（44台） 	<p>前年度予算 より増額</p>
<p>毛布・タオル贈呈（597千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県下の被災者へお見舞いとして毛布を贈呈 ・障がい者スポーツ大会等の参加賞としてタオルを贈呈 	<p>前年度予算 より増額</p>
<p>広告宣伝（1,564千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人や団体、企業の社会貢献活動を啓発、啓蒙するとともに、公益活動への関心を高めるため、善銀パートナー制度などについて下記の媒体を使用し、活動内容を広く告知します。 ・新聞広告の掲載、ラジオでの呼び掛け ・ホームページの充実、その他チラシなどの製作 	<p>前年度予算 より増額</p>

2、[会務の運営]

総会、理事会、運営委員会等に関する事項

① 総会

- ・ 定時総会は、6月に開催。
- ・ 臨時総会は、必要に応じて開催。

② 理事会

- ・ 定時理事会は、4カ月を超える間隔で2回以上開催。
- ・ 臨時理事会は、定款14条のいずれかに該当する場合に開催。

③ 運営委員会

- ・ 運営委員会は、効果的な事業の推進を図ることを目的に、各種事業の整理・調整を行うため開催（年6回以上）。

④ 同種活動団体との連携

- ・ 富山県善意銀行や中部善意銀行等と情報交換を行い、活動の参考にします。

3、[その他の事業]

① ボランティア団体等の拡充

現在、38の団体・個人に年間を通してボランティア奉仕活動を行っていただいております。約600人のボランティアがおられます。新型コロナウイルス感染症の長期化で見合わせている施設との仲介については、収束状況や県のリスクレベル等を見極めながら再開時期を判断します。再開後は引き続き、安全で安心なボランティア活動を行って頂くために、全国社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」加入を推奨します。また、若手のボランティア登録の拡大にも努めます。

② 肢体不自由児デジタル写真展に共催

公益財団法人熊本県肢体不自由児協会が主催している「肢体不自由児デジタル写真展」を令和6年度も共催します。同写真展は県内の肢体不自由児を対象にデジタル写真を募集し、文化活動を促進するとともに、肢体不自由児に対する社会の理解を啓発していくことを目的にしています。優秀作品に熊本善意銀行賞を授与

し、特別支援学校やこども総合療育センター、希望する肢体不自由学級設置中学校などで巡回展示会を開催します。

③ 支援学校文化作品展の開催

支援学校の生徒の人格と個性を尊重し、可能性を最大限に伸ばせるように高校文化連盟特別支援学校専門部、一般財団法人熊本公德会とともに「支援学校文化作品展」を開催します。優秀作品に熊本善意銀行賞を授与します。

④ 障がい者福祉施設販売会（ほっと&ハートマーケット）の開催

一般財団法人熊本公德会とともに熊本市中央区上通町の「びぶれす広場」で、障がい者福祉施設が作製している製品の販売会を実施します。年2回（計4日間）の開催を予定しており、参加する障がい者福祉施設は無料で広場を利用して、物品販売を行います。

⑤ 預託の拡充

企業、個人からの預託は、新聞・ラジオのほかにホームページでも見ることができます。ホームページをさらに充実させるなど多様な広報活動を行い、預託の拡充に努めます。新規会員の募集は前記媒体でのPRと、機関紙やチラシ等で勧誘を図っていきます。また、引き続きサポーター制度である「善銀パートナー」への参加を呼び掛け、寄付文化の醸成に努めます。

令和6年度「物品の預託と払出」計画

令和6年4月1日～令和7年3月31日

令和5年度の「物品の預託と払出」計画は前年度並みと考えております

(前年度実績参照)

預託者	品名	払出先
荒木雅子さん	食品8箱	シオン園他8施設へ
木下幸一さん	竹とんぼ150本	児童施設等へ
九州ラーメン党	ラーメン300杯	広安愛児園など4施設・団体へ
熊本城稲荷神社・高橋稲荷神社	御神饌17箱	トライハウスなど4施設へ
(株)興農園	花の球根10331球	きくすい荘など17施設へ
中央ゴルフ(株)	おもちゃ・ジュース・米など312点	みどり園など11施設へ
千代の園酒造(株)	清酒「百歳万歳」906本	本年度の百歳到達者へ
ラレーヌ・アリス他7件	生活用品など16箱	光明童園など8施設へ
米村芳雄さん他7件	玄米・米・もち米415 ^{キロ}	きらきら星レジデンスなど9施設・団体へ
水琴トライムボランティア連合	CDブック4冊	福祉施設へ
山部広美さん	生花18束・野菜4箱	イエズスの聖心病院など4施設へ
ふれあい会	サツマイモ・里芋3袋	熊本県子ども食堂ネットワークへ
匿名1件	お茶5箱	かなんの杜など5施設へ
藤本とよ子さん他12件	未使用はがき・書き損じはがき317枚	交換・換金し福祉資金へ
松山久美子さん他11件	未使用切手160765円分	交換・換金し福祉資金へ
預託者数129件(延べ205回)	使用済み切手40 ^{キロ}	換金し福祉資金へ

令和6年度「ボランティア活動」計画

令和6年4月1日～令和7年3月31日

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、施設訪問等のボランティアは令和2年2月下旬から仲介を見合わせています。再開については、収束状況や県のリスクレベル等を見極めながら判断する考えです。

(前年度実績参考)

奉仕する人・団体	ボランティアの種類	回数	奉仕先
田中知恵子さん		20	
森病院患者有志	使用済み切手整理	9	換金のための仕分け作業
山村久子さん		5	
匿名1名		2	
総計		36	